

民生委員・児童委員の皆様に『認知症の対応について』お話しさせていただきました。

こんにちは 西部地域包括支援センターの矢戸です。

10月21日にきらりホール鎌ケ谷で行われた鎌ケ谷市民生委員児童委員協議会の研修会で『認知症の方の対応について』150名程の委員の方にお話しする機会を頂きました。コロナ禍の影響で全体で集まるのは3年ぶりとのことで、行動制限による外出や交流機会の減少により、体力や認知面での低下が進んでいる方への対応の参考になれば幸いです。

また、オレンジサポート員の方々がコロナ禍の中で、歩いて通える小さな交流の場として、認知症の正しい知識の普及啓発マスコット『ロバづくり』をしている活動を、南部地域包括支援センター・認知症地域支援推進員の馬場さんから紹介して頂きました。

認知症の方を見守る地域づくりのメッセージを込めて、委員の皆様に実際の活動の中で作成したロバのマスコットを贈呈させていただきました。



「認知症になっても安心して暮らせる地域づくり」の普及活動のひとつとして認知症に関する取り組みの活動をしているオレンジサポート員のみなさんがロバを作っています。このマスコットキャラクターであるロバ隊長には、「ロバのように急がず、一步一步進んでいこう」という意味が込められています。ひとりでも多くの方に認知症の普及活動を知っていただくため、みなさんも目立つところにつけて下さい。

鎌ケ谷市役所 高齢者支援課



認知症サポーター  
キャラバンの案内

